

プレスリリース [令和 7 年 1 月 20 日]

(計 3 枚)

宝塚医療大学観光学部設置に関する 協定の締結について

このたび加賀市と学校法人平成医療学園 宝塚医療大学（兵庫県宝塚市、学長：岸野雅方）は、令和 9 年 4 月を目途に宝塚医療大学観光学部の加賀キャンパス（仮称）の開設に向けたプロジェクトの推進等について、基本協定を締結しました。これにより、加賀市が国から指定を受けた「デジタル田園健康特区」が目指す健康寿命の延伸構想と連携するヘルスツーリズムの研究開発拠点を整備いただくなど、地域に根ざした持続的な観光の発展を連携して推進していきます。

【合意事項】

- 1 令和 9 年 4 月を目途に宝塚医療大学観光学部の加賀キャンパス（仮称）の設置を実現させる。
- 2 加賀市は大学キャンパスの設置及び運営が円滑に進むよう、協力・支援し事業推進に努める。
- 3 宝塚医療大学は地域貢献に資する取り組みを積極的に行うこととし、加賀市は宝塚医療大学の取り組みに対して、支援を行う。

【今後の具体的な連携や目指す成果について】

- 1 宝塚医療大学観光学部の加賀キャンパス（仮称）の開設
加賀市内の施設を校舎に活用し、観光学部 2～4 年の学生 120 人の学修と教員の教育研究活動の拠点となるキャンパスを整備する。
加賀市内には、起業家やクリエイティブな人たちが多く集まる「かが交流プラザ さくら」があり、その中には、金沢大学が拠点を設け観光と医療を結びつけた研究などを行っており、こうした機関との連携による教育研究の拠点としての期待ができる。
- 2 地域社会との連携推進
全国有数の温泉地である加賀市での産官学の連携は、すべてのステークホルダーにとってプラスの効果をもたらすと考えている。観光分野に従事する専門人材を育成し輩出することは観光学部の使命です。観光人材不足が叫ばれ、人材がなかなか地域に根付かないという課題解決のため、観光人材学生の育成を産官学で行う仕組

みづくりを行い、早いタイミングで地域の企業と学生がマッチできる仕組みを構築する。

- ・山代温泉、片山津温泉、山中温泉という特色ある各温泉地での課題解決型演習、インターンシップによる「実践」の教育機会の場の提供などの協力。
- ・地元地域のホテル・温泉旅館、観光事業者の協力により、観光産業を目指し学修する学生を対象とした支援制度創設の検討（新しい形での奨学金制度など）。
- ・ヘルスツーリズム研究所を設立し、加賀市が国から指定を受ける「デジタル田園健康特区」による構想、加賀温泉郷との共同研究を通じて、ヘルスツーリズムの科学的な研究開発やエビデンスの作成、ヘルスツーリズムプログラムの作成など、ヘルスツーリズムの研究開発拠点を整備し、地域に根ざした持続的な発展を推進する。

【学校法人平成医療学園及び宝塚医療大学の沿革】

「学校法人平成医療学園」（大阪市北区）（以下「本学園」という。）は、平成 12 年 4 月に、全国に約 4,100 人（令和 5 年 1 月現在）の会員を持つ「全国柔整鍼灸協同組合」（理事長・現会長岸野雅方）が母体となり、柔道整復・はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の施術を行っている治療家たちが、自らの後継者を自らの手で育てようという理念に基づき、厚生省（現厚生労働省）から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」（大阪市北区）を開設した。いわゆる、発足当時から産・学が連携し、次世代の職業人を育成する学園である。本学園は、「徳義の涵養と人間性尊厳の実践」を教育理念として技術のみならず、医療人・職業人としての人間性豊かな人材の育成に努めてきた。

平成 23 年、これまでの専修学校教育を発展させ、より高度化、細分化、多様化する医療現場の要望や環境に即した理学療法士、柔道整復師及び鍼灸師の養成を図ることを目的に、宝塚医療大学を兵庫県宝塚市に開設し、1 学部（保健医療学部）3 学科（理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科）を設置した。さらに令和 5 年 4 月に口腔保健学科を開設した。

令和 2 年 4 月、和歌山県の誘致及び県の業界団体からの要請を受け、和歌山県における高度な知識・技術を持つリハビリテーション専門職の養成及び県内の医療施設等への人材供給を目的として和歌山保健医療学部リハビリテーション学科（和歌山県和歌山市）を新たに開設し、令和 4 年 4 月、「看護学科」を開設した。

また、令和 6 年 4 月には「観光学部」を開設した。

【宝塚医療大学観光学部の概要】

観光学部は、1 年次を沖縄県宮古島市初の高等教育機関となる「宮古島キャンパス」で学修をし、2 年次以降は兵庫県尼崎市の「尼崎キャンパス」で学修します（令和 9 年 4 月より石川県加賀市に新たに設ける「加賀キャンパス（仮称）」と「尼崎キャンパス」を学生の希望により選択する）。

- 1 学部学科名：「観光学部」Faculty of Tourism「観光学科」Department of Tourism
- 2 学位名／卒業単位数：「学士（観光学）」Bachelor of Tourism／124 単位
- 3 定員：入学定員 100 名収容定員 400 名
- 4 養成する人材像

本学園の医療技術分野における経験も活かした観光専門職人材を育成することで観光産業及び地域振興に貢献することを教育研究の目的としている。以上の目的を踏まえ、本学部で養成する人材像は以下の4つの能力・知識を修得している者とする。

- ・ 国や地域、文化等、あらゆる背景を持った多様な人々に対する高いコミュニケーション能力
- ・ 日常業務で求められる観光分野に関連する専門的な知識
- ・ 観光分野でこれから益々重要となる医療及び介護に関する知識
- ・ 時代の趨勢を踏まえ変化する状況に対応できる能力

5 カリキュラムの特徴

- ・ 実践的で高い英語力の育成
- ・ 情報処理能力やデータサイエンス・AIに関する知識技術の育成
- ・ ホスピタリティー精神にあふれたコミュニケーション能力の育成
- ・ 感染症など医療分野の知識・技術を教育
- ・ 充実したインターンシップによる実践的能力の育成
- ・ 「ヘルスツーリズム」「地域経営（観光）」「ホテル・ブライダル」「エアライン」の4つの分野について専門的に学ぶ

本件へのお問合せ先

加賀市 政策企画部 企画課 （担当：平田、山本 TEL 0761-72-7830）
E-mail: kikakuchousei@city.kaga.lg.jp